

突風 事故防止

転倒事故から人を守る

風対策が不十分な
テントはいつ凶器に
なるかわかりません！



早い!

強力!

簡単!

安全対策用スパイラル杭

クイックテントペグ

設置

1. ベース金具を置いて
2. ペグを打ち込み
3. 連結金具を落とし込んで
設置完了!

テント以外にも、台風対策等で
色々なもの(物置など)の転倒・
吹き飛ばされ防止に役立ちます。



撤去は3秒

1. 連結金具を外し
2. ベース金具を2回転
3. 泥を落として仕舞えば
後片付け完了!



企画・設計・施工
株式会社GTスパイラル

〒860-0823
熊本県熊本市中央区世安町138番地
TEL 096-288-0781
FAX 096-288-0782

<http://www.gt-spiral.com>
e-mail: info@gt-spiral.com

クイックテントペグ

概略仕様	【スタンダードタイプ】		【ロングタイプ】	
	4本組	6本組	4本組	6本組
クイック(スパイラル杭)	220mm		330mm	
	4本	6本	4本	6本
ベース金具(50×173mm)	4枚	6枚	4枚	6枚
連結金具	4個	6個	4個	6個
重量	3.2kg	4.8kg	3.7kg	5.6kg
段ボールケース	(高さ)	60mm	60mm	60mm
	(幅)	100mm	130mm	100mm
	(長さ)	330mm	330mm	420mm

*地盤が弱いと予想される場所には、ロングタイプをお勧めします。

特徴

①特殊形状でしっかり固定

これまでのテント用ペグとは違い、螺旋状のスパイラルが地面にしっかり食い込み、コンパクトな見た目からは想像もつかない、強力な引き抜き抵抗力でテントの吹き上げを防止します。

まさに**大地のねじ!!**

②簡単設置で簡単撤去

連結金具でベース金具とテントの脚を挟み込み、長孔にクイックを差し込んで**打ち込むだけ**の簡単な作業。後は、連結金具を落とし込んでテントの脚とつなぐだけです。撤去の際は、連結金具を外しベース金具を反時計回りに**2回転**させるだけ。簡単にクイックを回収できます。

③多目的に利用可能

テント用のペグとしてだけでなく、ゴールポストや物置の固定などにも使えます。小さくとも抜群の強さを発揮するクイックだからこそ多目的に利用できる**優れもの!**

テントペグあれこれ

1. 見かけは小さいのになぜ強いのか?

ベース金具の長孔を通して打ち込むことで、クイックは自然と回りながら地面に入っていきます。丁度、木材に木ねじを回し入れるのと同じです。こうすることで地盤を乱さずに杭を打つことが出来ます。そのまま引き抜こうとすると、らせんの全ての面が地盤と一緒に抵抗します。その強さは、ストレートの杭とは格段の違いです。更に、ベース金具の作用で「こじれ」が発生するので、更に抵抗力が増します。

2. どれくらいの力に耐えるのか?

クイックテントペグの強さは、地盤に左右されます。学校の校庭位の地面で、140kg以上の力に耐える様に設計されています。それ以上でも、金具は変形してもクイック自体は400kg以上の耐力があります。
(*N値: 10 クイック:スタンダードの場合)

3. 重しを使っているけど?

テントの重しは、砂や水を使うことが多いと思いますが、その重量はせいぜい30~40kgでしょう。クイックの力の10分の1です。風速20mの突風が吹いたときにテントの脚1本に掛かる力は約140kgですので大人があわてておさえても、押さえきれものではありません。まして、何もしていないテントは、ちょっとした突風で飛ばされる可能性があります。テント同士を結び付けていても、風を受ける面積がその分広がるわけで、気休めにしかなりません。
(参考: 一般的な6mmのロープの耐力は60~80kg)



施工方法 (仕上がり状態は表の面の写真に参考して下さい。)

- ① テントの脚の位置に合わせてベース金具の位置決めをします。金具の向きはテントの脚に対して360°どの向きでも構いませんので邪魔にならない向きになるようにして下さい。やむを得ず通路となる場合は、適宜、つまづきを防止するような対策をして下さい。
- ② テントの脚とベース金具を連結金具で結合して下さい。
- ③ ベース金具の長穴にクイックを差し込み、ハンマーなどでクイックの頭を叩いて、打ち込むと施工終了です。

* テントの脚が標準的な太さより大きい場合は、連結金具で結合できない場合があります。その際は、市販のロープ(ヒモ)で結び付けてください。使用するロープは6mm程度の強靱なものを用意し、丸孔を利用して、テントの脚に2回以上巻きつけてしっかりと結び、解けないようにして下さい。
**イタズラ等が心配な場合は、連結金具の上からビニールテープを一巻きするなどの工夫して下さい。
***まれに、石等が埋まっただけで途中で地面に入っていくことがあります。無理に打つと杭が曲がりますので、そういう場合は一端抜いて打ち込む場所を変えて打ち直して下さい。

撤去方法

- ① 先ず、連結金具を外します。
- ② ベース金具の丸孔の部分を持ち、杭を中心に反時計回りに2回転させます。
- ③ クイックとベース金具を分けて、お手入れして保管してください。

使用上の注意

- ① 施工時はけがをしないように注意してください。
- ② 施工後は、簡単に抜けないかどうか確認してください。もし、簡単に抜けるようであれば使用を中止して、弊社にご連絡下さい。対策等をご相談いたします。
- ③ 施工したあと、杭につまづかないよう杭頭部にお気をつけてください。
- ④ テントの吹き上げ防止以外の用途に使用する場合には、地盤強度と必要強度を確認してください。
- ⑤ コンクリートやアスファルトなどには適しません。
- ⑥ 夏場など日光により、製品が熱くなる場合がありますのでご注意ください。

保管上の注意

- ① 水分をよく切り錆びないように保管してください。
- ② 紛失の防止や、次回すみやかに使用していただくため、一式をまとめて保管してください。

お手入れ方法

- ① 永くご使用頂くために、使用後はよく洗い、乾燥させて保管することをお勧めします。
- ② 繰り返し使用によりメッキ層には磨耗・キズ等が生じます。その際は、油や塗料にてさびから保護してください。



企画・設計・施工

株式会社 GT スパイラル

〒860-0823 熊本県熊本市中央区世安町138番地
TEL 096-288-0781 FAX 096-288-0782

URL <http://www.gt-spiral.com>
e-mail info@gt-spiral.com